



の声がありました。
You Tubeなどで映像は見たことがあったが、実際にやってみて面白かったと

ました。
You Tubeなどで映像は見たことがあったが、実際にやってみて面白かったと

うを実施しました。
小学生、保護者など合わせて百人余りが参加。南信州いいだおもしろ科学工房の三浦先生他2名を講師に迎えて、液体窒素で超低温状態を作り出したポットヘダリアの花を入れると瞬時に凍り、取り出した花を握るとばりばり壊れる様を体験しました。また、風船ロケット作りは尾翼の枚数・位置での飛び方の違いを知り、各々が風船ロケットを作り飛ばし、違いを実感していました。

コラムかなえ

子どもを育む委員会では、7月1日に鼎小
学校児童を対象に★サイエンスショー「超低温の不思議な世界」と
☆風船ロケットを作る

CONTENTS

- 地域振興
市議会傍聴、りんごん参加 ほか
- 環境衛生
全市一斉水辺等美化活動、視察研修報告
- 消防団
矢高諏訪神社秋季祭典煙火警護活動
- 生活安全
夏の交通安全運動、防犯パトロール
- 子どもを育む
全体事業、各地区の活動について
- 健康福祉
視察研修4年ぶりに実施

地域振興

市議会一般質問の傍聴に参加して

総務文教部長 熊谷廣光

まちづくり委員会では、6月13日に行われた市議会第2回定例会の一般質問に合わせ、市議会傍聴を行いました。

当日はまちづくり委員会執行部十数名で飯田市議会の議場を訪れました。また、鼎出身の市議会議員3名が一般質問をするというところで午後2時過ぎに会場入りしました。はじめて入る議場は厳肅な雰囲気、自然と厳かな感覚を味わいました。

最初の質問に立った小平彰議員は「飯田市の子育て環境・教育について」質問しました。未就学児の保育所利用の現状や小中学生のICTを利用した授業について質問をされていました。市側の答弁では少しずつ改善されている



議員と市長らとのやり取りを真剣に聴くまちづくり委員会執行部

現状について説明がありました。続いて質問に立った古川仁議員は、市による交通弱者支援の現状について進捗状況の確認を求める等の質問をされていました。最後に、山崎昌伸議員の質問では、自治体アンケートの集計結果から飯田市の現状は伊那市と比較して移住に関心のある人からの注目度が低いのではないかと、もっと力を注ぐ必要があるのでは、と提案がありました。

はじめての傍聴を経験し、議会での緊張感のある議論の様子も見られ、議会に対する考えは少しだけ変わったように思います。今後の議会の行方に注目していきたいと思えます。

飯田りんごんに参加して

下山区長 伊澤増男

市民夏祭りが8月5日に開催されました。過去3年間はコロナウイルス感染拡大に振り回されて思うようにできませんでした。今年は4年ぶり通常通りの市民祭りができるといふことで、私たちもりんごん踊りに参加しました。

鼎10地区の人たちが鼎連として一つにまとまり、100人弱の人たちが参加して大いに盛り上がり、真夏の夜のひとときを楽しみました。例年だと必ず夕立に見舞われていたのに、今年は雨も無くて最高の状態でできました。夕方6時半に踊りが始まり、約70近くの踊り連が動き出しました。すぐにもものすごい熱気とパワーが一気に噴出して、我々の踊り連は圧倒されつつ放しでしたが、徐々に溶け込むことができました。全員が楽しそうに踊りました。

この熱気やパワーはどこから出てくるのだろうかとか観察しながら参加していると、すぐに答えは分かりました。それは保育園児から小学生、中学生や女子高生などの若い力



コロナ前より参加者が半減した鼎連も存在感は変わらず

でした。小学生の元気な掛け声と一糸乱れぬ踊り、中学生のアレンジした踊りや飯田女子高生の掛け声と隊列を崩すこともなく見事なまでの統一された踊りなどに圧倒されて、我を忘れて見惚れるくらいでした。そうこうしていると、今度はクラシックバレエ教室の小さな子どもから、若者たちの踊り連には、あまりにも可愛らしくて疲れを忘れさせてくれるほどでした。市民祭りは子どもや若い人たちに引っ張られて大人が元気をもらえると、このことを痛感させられた夜でした。

鼎地区パワーアップ 事業を決定

事業を通じて、鼎地区基本構想・基本計画「人・暮らし・文化が潤う 夢ある かなえ」の実現に向けて、広く地区の資質向上につながっていくことが期待されます。

令和5年度 鼎地区パワーアップ事業一覧

No.	事業名 (申請団体)	助成金額
①	高齢化に対応した会議体づくり～座椅子購入整備 (下茶屋区)	178,000
②	切石獅子舞創成100周年記念事業～記念誌制作 (切石獅子舞創成100周年記念実行委員会)	200,000
③	ポータブル電源購入事業 (中平区)	187,000
④	「鼎婦人会のあゆみ」制作事業 (鼎婦人会)	300,000
⑤	あいさつ運動タスキ整備事業 (鼎婦人団体連絡協議会)	41,000
⑥	鼎中学校パイプハウス整備事業 (鼎中学校PTA)	72,000
⑦	鼎小学校創立150周年記念～次世代ボプラ保全継承事業(鼎小学校150周年記念事業運営委員会)	400,000
⑧	鼎小学校創立150周年記念～記念リーフレット制作事業(鼎小学校150周年記念事業運営委員会)	583,000
合計	8事業 (7団体)	1,961,000



今回は切石区の役員を中心に現地視察を実施

リニア松川工区の現地視察は7月18日に実施しましたが、今回の視察は4月20日発生のトンネル内で掘削作業中にアームがトンネルの上部壁面に接触して壁面のコンクリート破片が落下し、下で作業中の作業員の首に当たったことで、首を捻挫、4週間の安静加療が必要と診断されたという事故があり、少し面持ちが違いました。飯田労基署へ「労働者死傷病報告」が提出されたのが5月15日で報告遅滞があったと「労災隠し」を疑われたことで、現地での説明にも、

**リニア工事現場の
現地視察を終えて**
建設部長 前澤清隆

動揺が感じられました。現在の状況説明を受けた後、黒田工区のトンネル出口の工事に向けた栈橋と、黒田工区と松川工区を結ぶ橋を作る為の足場栈橋を作っている現地を確認してきました。

**県ホームページを
ぜひご覧ください**

令和3年12月から公開している県地区ホームページは、タイムリーな情報の発信に努め、県に住んでいる人も、こ

れから住んでみたい人も、誰もが「素敵な地域だな」と感じてくれるようなサイトを目指しています。また、子育て世代や高齢者の皆さまなど、もっと多くの方に見ってもらうため、保育園

や小中学校、地元高校などを通じてPRチラシを配布するとともに、組合回覧などにより県地区ホームページの認知度を上げるための取り組みを推進しています。

県ホームページ

県のポータルサイト(ホームページ)では
県地区の魅力と情報を発信中です。

県ポータルサイト 🔍 検索

hitokana.com

真ん中のQRを読んでね!

その他、
県の魅力が
いっぱい!

【かなえの人特集】
県には魅力溢れる人がたくさん。
そんな素敵な県人を続々ご紹介。

【各種団体の情報】
各団体の最新情報、
お役立ち情報を随時発信中。

【地区の活動】
県10地区の
日々の活動をご紹介します。

<https://hitokana.com>

県地区まちづくり委員会
お問い合わせ ✉ kanae-machi@mis.janis.or.jp

みんな見てね!

県地区ホームページを「もっと知ってもらう」、「もっと活用してもらう」ため
認知度向上の取り組みを推進中

環境衛生

全市一斉 水辺等美化活動

上山支部 羽場崎 幸尋

去る7月2日(日)全市一斉の水辺等美化活動が行われました。上山区でも朝7時より1班から5班まで多くの区民に参加していただき、事故や怪我等なく無事終了できました。

上山区には約100組合、約600戸の区民がいます。今回各班より440名の参加がありました。が、複数の組長さんにこの美化活動について話を伺いました。多くの意見として次の3点がありました。

◎2人から4人の組合が多く、しかも高齢者1人の家庭があり、負担が多くなってきた。

◎多くの組合担当場所には川、井水はなく、ごみゼロ活動と同時に活動になると助かる。

◎活動時、組合員同士の交流

ができて良いと思う。と話してくれました。当面は、次の活動に向けて組合員同士仲良く、助け合ってやっていこうという意見でまとまりました。



こちらは、春のごみゼロ運動の結果です。11月12日の秋のごみゼロもご協力お願いします。

視察研修報告

切石 代田 稔

環境衛生委員会では、7月13日(木)に稲葉クリーンセンターと環境産業公園内の(株)アース・グリーン・マネジメント、エコトピア飯田(株)へ視察研修に行きました。

稲葉クリーンセンターでは、様々な廃棄物を完全に焼却できるよう制御室で施設内の機器を監視、制御をコンピューターにより行われていました。焼却により発生する熱エネルギーを利用し発電を行い、施設内電力として有効活用し余剰電力は公共施設に送電されていることが分かりました。

環境産業公園内の2社では、リサイクルステーション等で回収されたペットボトルを洗浄・粉碎後、繊維・プラスチック文具用品・シート等の製品に、また紙資源で回収された新聞古紙からは、建築用の断熱材等にそれぞれ再利用さ



れていました。視察研修に伺った3社では、施設内の清潔さと整頓された状態で環境への配慮と安全性が重視され、地域の廃棄物処理施設として環境保護における重要な役割を果たしています。



令和5年度「春のごみゼロ運動」実施報告

5月28日(日)に行われた「春のごみゼロ運動」の実施報告です。
※西鼎のみ5月5日(金)に実施。

区名	人数(人)			空き缶(本)	空きびん(本)	ペットボトル(本)	燃やすごみ(袋)	埋立ごみ(袋)	金属資源(袋)
	大人	子ども	計						
下山	335	5	340	23	9	13	29	10	4
東鼎	58	0	58	2	0	5	23	2	1
西鼎	54	13	67	0	0	0	8	1	1
下茶屋	114	12	126	6	6	7	4	1	1
中平	265	12	277	12	0	5	0	2	0
上茶屋	46	1	47	2	0	0	2	0	1
切石	469	23	492	28	5	15	19	2	1
上山	393	13	406	45	3	31	12	1	3
一色	123	9	132	33 +3kg	11 +2.5kg	10	11 +0.4kg	3kg	1
名古熊	310	25	335	41	11	38	22	16	7
合計	2,167	113	2,280	192 +3kg	45 +2.5kg	124	130 +0.4kg	35 +3kg	20

その他 陶器のかかけら・ビニール袋・タバコ・プラスチック片・傘の骨・手袋・乾電池

皆様のおかげで多くの場所がきれいになりました。ご協力ありがとうございました！

消防

矢高諏訪神社秋季 祭典煙火警護活動

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で地区内の様々なイベントが自粛となっていました。今年度は多くのイベントが再開となり、地区内に活気が戻ってきています。

消防団におきましても夏季における各地区のお祭りには花火の打ち上げに伴う火災の防止を主とした警護を実施しており、8月19日(土)に行われた矢高諏訪神社秋季祭典煙



火打ち上げにおきましても警護活動を実施しました。

当日は午後より強い雨が降ったため、通常実施している散水作業は行いませんでしたが、花火打ち上げ時と連合大三国時の警護は通常どおり実施しました。

雨天の中、団員は合羽を着用しながら警護にあたりましたが、無事何事もなく終了しました。

夏の消防体験

8月27日(日)に鼎少年消防クラブを対象としたイベント「令和5年度夏の消防体験」を中平の鼎防災センターにて開催し、当日は大勢の子どもたちが集まりました。

はじめに伊賀良消防署の方にご協力いただき、防災ハザードマップを見て災害発生時の避難場所や地域の危ない場所を確認したり、過去に飯田で発生した豪雨災害の様子を動画で見たり、非常用持ち出し袋の中身を確認したりしました。

その後は下茶屋の松川河川敷へ移動して、消防団の小型ポンプを使用して放水体験を実施しました。

参加した子どもたちは放水の水圧に耐えながら、勢いよく水が飛んでいく様子に興奮していました。

参加した子どもたちにとって良い夏の思い出になったのではないかと思います。

消防団では今後もこのような子どもも楽しめるイベントがございますので、機会があればぜひ参加してみてください。



団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

080-1294-5298

メール

rith_mish@icloud.com

生活安全

夏の交通安全やまびこ運動が実施されました。

人波ルート作戦

夏の全国交通安全やまびこ運動期間中の7月24日(月)朝7時、切石体育館前交差点にて人波ルート作戦を実施しました。

上茶屋、切石、上山、一色、名古屋の交通指導員・女性部員、飯田市役所鼎会、名古屋交番の警察官など約60名が集



まり、「ルールを守って安全運転」、「早めのライト点灯」、「飲酒運転撲滅」などと書かれたのぼり旗を掲げ、ドライバーに交通マナーの実践を呼びかけました。

交通指導所の開設

7月30日(日)午前10時より、切石体育館前交差点にて交通指導所を開設しました。

生活安全委員10名と名古屋交番の警察官が、赤信号で止まった車のドライバーに啓発チラシを配布し、安全運転を呼び掛けました。

暑い中、窓を開けてご協力いただいたドライバーの皆さんありがとうございます。



だんだんと日が落ちるのが早くなってきました。車も自転車も、早めのライト点灯で安全に運転しましょう。

交通安全教室

明星保育園、鼎あかり保育園にて交通安全教室が行われました。

正しい歩道の歩き方や横断歩道の渡り方などを身につけてもらえるよう、名古屋交番の警察官と共に、歩行指導を実施しました。

交通安全教室を通して、子ども達の事故が少しでもなくなるよう願っています。



● 明星保育園 ●



● 鼎あかり保育園 ●

夏の地域安全運動が実施されました。

切石区夏の防犯パトロールの実施

切石支部長 中島 進

防犯パトロールは、夏と冬に各区で実施しています。

今回は、8月6日(日)に切石区で実施した防犯パトロールの内容を報告します。

防火防犯部員及び生活安全部長の4名で、公共施設(2か所)・コンビニ(2店舗)・天伯神社・妙琴公園・切石駅の7か所を巡回しました。犯罪の温床となるような場

面がないか確認したり、キャンプ地(妙琴公園)で火の取り扱いに注意するよう声を掛けたりしました。また、コンビニ各店長に、防犯上問題になっていることがないか聞き取りを行いました。全体を通し、防犯上問題になる事項はありませんでした。



注意! 忍び込み泥棒被害発生

忍び込みや空き巣の泥棒被害、車上荒らし被害が連続して発生しています。

主に、無施錠箇所から侵入する手口での被害が多発していますので、施錠を徹底してください!

★家を留守にするときは、短時間でも必ず施錠!

★自宅にいるときも施錠!

★車を離れるときも必ず施錠!

★車に貴重品や大事なものは置かない!



泥棒被害にあったり、不審者をみかけたら……

緊急ダイヤル 110番
飯田警察署 0265-22-0110
名古屋交番 0265-24-0184

子どもを育む

名古熊 体験学習(県)

7月1日に体験学習が開催されました。昨年は熱中症アラートが発出されましたが、今年はそこまで暑くなく子ども達にとっても参加しやすい日となったと思います。

今年の体験学習は、小学生全学年を対象に南信州いいだおもしろ科学工房による「サイエンスショー(超低温の不思議な世界)」と「風船ロケットを作ろう」が開講され、昨年度を上回る児童57名、未就学児15名の参加がありました。保護者も含めて3つの班を作り、それぞれの班で液体窒



素の入ったガラスケースに「生花」「風船」を入れて凍った状態とそれが常温に戻るときの変化を観察しました。子ども達は一様に驚くとともに不思議なものを見たとの顔つきとなっていました。その後は、細長のビニール袋で作るロケットづくりに興じていました。

90分間の体験学習でしたが子ども達の興味は尽きず、もう少し時間が欲しいようでした。



色「一色塾」で笑顔いっぱい

7月24日〜26日に、子どもの居場所づくりとして「一色塾」を開きました。昨年はコロナの影響で中止となりましたが今年開催できて嬉しい限りです。

前半一時間程で宿題を行い、後半に楽しい企画です。前半の宿題は開始時間前から始める子ども居て感心させられました。



企画の一日目は南信州いいだおもしろ科学工房による「空気砲」と「バルーンスライム」。二日目は市役所環境課環境保全係による「ゴミ分別レース」と「環境カルタ」。三日目は関島水引店による「水引ストラップ作り」でした。どの企画も子ども達にとって普段から接する機会があまり無いような企画でしたから、皆、目を輝かせながら講師の方の話真剣に聞き、時には発言もしながら、それぞれ楽しんでいました。大きい箱からドーナツ状の煙が出てくると歓声が沸き、自分で作ったバルーンスライムが上手に膨らむと最高の笑みがこぼれ、ゴミの分別がきちんとできて相手チームに勝つと拍手が起こり、水引を数本手に取ると皆真剣な表情で

結び始め、完成するとバッグに飾る。そんな「一色塾」の笑顔あふれる三日間でした。



上山 子どもの笑顔が いいね!

新型コロナウイルスの感染増加が懸念されるものの、各種事業はコロナ禍前に戻りつつあります。

『宿題やらまい会』も実施できました。第一日は宿題と釣りゲーム。ゲームは公民館教育文化委員会が昨年度から準備していたもので、子どもの笑顔と共に日の目を見ることができました。二日目は平日開催で宿題と体験学習。子どもを育む委員会です。

昨年年度視察したかざこしこどもの森公園体験学習『草のキーホルダーづくり』。



40名を超える子ども達の参加でしたが、M.Y.キーホルダーを仕上げて持ち帰り。「楽しかった」とつぶやく子ども達の笑顔は輝いていました。夏の思い出を一つ残せたことでしょう。

今年も子ども達への贈り物を準備。小学生へは花火、委員と小学校PTAが中心となってラジオ体操の場を活かして届けました。【ニコニコ】親子で花火を楽しめたかな？



中学生へは図書カード。皆が集まる場は難しいので、支部長さんに依頼。中学生は何を手にしたのでしょうか。

委員会活動として、通学路危険箇所パトロールも6月に実施しています。日常の街頭指導も班毎行って子ども達を見守っています。子ども達が笑顔で居られるように地域の皆様もご協力よろしくお願いたします。

健康福祉

介護予防教室 かなえる会等視察 総務運営部会長 (中平)川口 充央

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止せざるを得ませんでした。健康福祉委員会の研修視察ですが、今年度4年振りに、7月5日・19日の2回に分散して開催しました。

通所型サービスBと呼ばれる介護予防教室の鼎教室である「かなえる会」で勉強させて頂きました。コグニサイズプログラムと呼ばれる、運動と認知課題を組み合わせた認知症予防の取り組みに、私たちも挑戦しましたが、これらも中々思うようにはできません。参加されている皆様の生き生きと取り組んでいる姿を見ると、やはり多くの人と出会い、話をしていくことが大事と考えさせられました。



かなえる会

またボランティア等も不足して運営も厳しい旨のお話もお聞きしました。行政ばかりではなく、まちづくり委員会を中心に、地域として何ができるかを考えさせられました。

かなえる会の視察の後は、飯田市消費生活センターから「詐欺や悪質商法の被害にあわないために、地域で見守る安全なくらし」の講習を受けました。自分も含め、絶対に騙されるはずはないと思っただけでも、いつ被害にあうかも知れません。また一人暮らしの高齢者の皆様に対して、地域としての見守りの重要性を考えさせられました。今後有意義な研修を考えていきたいと思えます。

「いつまでも、スイスイと」 絵手紙講習会 ボランティア部会長 (下山)宮島 肇

今年度一回目の絵手紙講習会を、7月9日の日曜日に鼎公民館で開催しました。

題材は、ミカン、カボチャ、リンゴ、イワシ、ダルマ、コマ、羽子板の羽など。
絵に添えられた言葉は、「いつまでもおげんきで」「あけましておめでとうございます」



絵手紙講習会

「毎日けんこうでありますように」
「毎日が魚のようにスイスイと」
「みずみずしい平和な一年を」
「毎日が軽々とすこせますように」など。

健康づくり教室 名古屋支部長 吉澤 勝正

梅雨の晴れ間の7月2日午前9時から10時30分頃迄、名古屋区公民館一階大ホールにおいて、名古屋区健康づくり教室を開催しました。

名古屋区の高齢者クラブの悠々クラブの方を中心に約二十数名の参加者が集いました。最初に鼎自治振興センターの久保田保健師から「歩こう動こうプラステン(＋10分)」のお話を聞いて、日常生活の中で少しは体を動かそうと心を新たにしたいところです。

小中の児童生徒さん5名に加え、保育園の年長さんも飛び入り参加してくれました。さて、題材と、言葉と、作者の組み合わせを想像してみてください。気持ちのこもった絵手紙が出来上がりました。年始にこの絵手紙を送られた、一人暮らしの高齢者の笑顔も想像できます。

ご指導くださった上山の小森ゆみ子先生に感謝すると共に、10月予定の第二回講習会に多くの参加を願います。

次はいよいよ本日のメインの健康体操に入り、講師の健康運動指導士の赤羽美恵子先生から椅子に座ってできる体操を教わりました。約一時間体を動かしましたが、赤羽先生から体の柔らかい人は柔らかいなりに、体の硬い人はそれなりに体を曲げてもらって結構ですとのお話があったので、皆さんほっとした表情で体操を行っていました。
楽しい時間もあっという間に過ぎてしまい、皆さん心地良い汗をたっぷりかいて、10歳は若返ったように見受けられました。
コロナ対策ということもあ



名古屋区健康づくり教室